

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 1 1	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳) Beer and obesity: a cross-sectional study. ビールと肥満、断面的研究	
執筆者 Bobak M, Skodova Z, Marmot M.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Eur J Clin Nutr. 2003 Oct;57(10):1250-3.	
キーワード ビール、肥満、WHR、BMI	
要 旨 <p> ビールを摂取する人は、アルコールを摂取しない人や、ワイン、蒸留酒を摂取する人に比べ肥満になる人が多いというのが一般の見解である。これは`beer belly` という表現でも表されている。しかし、これまでにビールの摂取量と 腹部の肥満の関連性に関する研究がいくつかあるが、その結果は統一性がない。そこで、本研究では、ビールを摂取する人を対象にビール摂取量と腰—臀部比 (WHR) の関連性や BMI (body mass index) の関連性について調べた。チェコスロバキア共和国の 6 地域の一般人、1141 人の男性、1212 女性、年齢 24-64 歳を対象に質問表を用いた回答法とクリニックでの短い調査を実施した。質問表により、ビール、ワイン、蒸留酒の 1 週間あたりの摂取量、飲酒の頻度、喫煙等、他の因子について質問した。分析は本研究の中で 891 人の男性と 1098 人の女性とし、彼らはアルコール非飲酒者あるいはビールしか飲まない人である (通常の一週間、ワインや蒸留酒を飲まない人)。その結果、1 週間のビールの摂取量は男性で 3.1L 女性で 0.31L であった。男性でビールの摂取量は WHR と関連性が観察されたが、その関連性は弱く、他のリスクファクターを考慮すると有意性はなかった。また、喫煙とは相互作用が観察された。ビール摂取と WHR の間の関連性は非喫煙者の間では観察されなかった。また男性ではビール摂取量と BMI に関連性は観察されなかった。女性ではビール摂取量と WHR には関連性が観察されなかったが BMI とは弱い逆相関が観察された。 </p> <p> 以上の結果からビールの摂取量は WHR や BMI と大きな関連性があるとは言えないと考えられた。 </p>	